



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 あみやき亭
コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,354	7.1	2,391	7.1	2,466	7.7	1,645	7.7
27年3月期第3四半期	20,874	13.9	2,233	10.0	2,291	10.6	1,528	23.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,645百万円 (7.6%) 27年3月期第3四半期 1,528百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	240.29	—
27年3月期第3四半期	223.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	21,251	16,962	79.8	2,476.67
27年3月期	20,116	15,932	79.2	2,326.39

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 16,962百万円 27年3月期 15,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
28年3月期	—	45.00	—		
28年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 記念配当15円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	8.6	3,110	3.9	3,200	3.8	2,130	3.2	311.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	6,848,800 株	27年3月期	6,848,800 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	6,848,800 株	27年3月期3Q	6,848,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安による物価上昇などで個人消費は回復までには至っておらず、また中国等の経済成長の減速など先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましては、円安などによる原材料価格の上昇及び労働需給逼迫による人件費の上昇並びに物価高に伴う消費者の節約志向などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社の主要原材料であります牛肉価格が依然として上昇している環境下、食肉のプロ集団としてのカット技術を活かした歩留り向上等を行い、原材料価格上昇の影響をできうる限り吸収してまいりました。また、品質を維持しつつ価格を据置きし、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、既存店の強化を行ってまいりました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、9店舗を新規出店いたしました。ダイニング1店舗を退店したため、229店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高22,354百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益2,391百万円(前年同期比7.1%増)、経常利益2,466百万円(前年同期比7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,645百万円(前年同期比7.7%増)と増収増益となり、過去最高となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、7店舗新規出店した結果、151店舗となりました。内訳は、あみやき亭109店舗、どんどん18店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館11店舗、ほるとん屋4店舗、ブラックホール3店舗、島津1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、既存店強化に努めてまいりました。

また、「食肉の専門集団」である強みを活かした名古屋市場直送の新鮮な朝挽きホルモンをその日のうちにお客様へ提供するホルモンと牛タン専門店の「ほるとん屋」におきましては、引き続きお客様に満足感・価値感のあるものとなるよう更に商品の磨きこみを行っております。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」での商品を提供しております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社グループより焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、17,222百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、56店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、従前より最優先事項として内部取り組みを行ってまいりましたが、既存店売上は前年を上回るなど成果が鮮明化しております。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,833百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は2店舗新規出店し、1店舗退店したため、22店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」8店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング4店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引き続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客様の立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループが経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指し、改修・改装に取り組むとともに都心に新規出店いたしました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,292百万円(前年同期比17.1%増)となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、21,251百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,134百万円増加しました。主な要因は建物の増加によるものです。

負債総額は、4,288百万円となり、前連結会計年度末と比較し、105百万円増加いたしました。

主な要因は買掛金の増加によるものです。

純資産額は、16,962百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,029百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月1日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,048	8,304
預け金	102	229
売掛金	4	5
商品及び製品	58	68
原材料及び貯蔵品	242	366
繰延税金資産	236	176
その他	364	424
流動資産合計	9,056	9,576
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,802	5,200
構築物（純額）	331	325
機械及び装置（純額）	206	221
車両運搬具（純額）	11	23
工具、器具及び備品（純額）	184	214
土地	1,592	1,592
建設仮勘定	17	40
有形固定資産合計	7,144	7,617
無形固定資産		
ソフトウェア	6	8
のれん	634	600
その他	40	40
無形固定資産合計	681	648
投資その他の資産		
投資有価証券	9	8
長期貸付金	269	299
繰延税金資産	333	355
差入保証金	1,374	1,438
投資不動産	650	685
その他	596	620
投資その他の資産合計	3,234	3,408
固定資産合計	11,059	11,675
資産合計	20,116	21,251

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,069	1,218
未払金及び未払費用	1,159	1,208
未払法人税等	537	322
賞与引当金	138	93
役員賞与引当金	20	22
株主優待引当金	3	3
ポイント引当金	47	40
その他	679	657
流動負債合計	3,655	3,568
固定負債		
繰延税金負債	23	24
資産除去債務	337	351
その他	167	344
固定負債合計	528	720
負債合計	4,183	4,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	11,031	12,060
株主資本合計	15,931	16,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
純資産合計	15,932	16,962
負債純資産合計	20,116	21,251

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）
売上高	20,874	22,354
売上原価	7,774	8,360
売上総利益	13,099	13,994
販売費及び一般管理費	10,866	11,602
営業利益	2,233	2,391
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	0	0
受取賃貸料	8	11
協賛金収入	35	42
その他	4	12
営業外収益合計	59	76
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	2,291	2,466
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	10	17
減損損失	58	12
特別損失合計	69	30
税金等調整前四半期純利益	2,221	2,437
法人税、住民税及び事業税	675	752
法人税等調整額	18	39
法人税等合計	693	791
四半期純利益	1,528	1,645
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,528	1,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,528	1,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	1,528	1,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,528	1,645

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。